



shaping your dreams



# 環境報告書

# 2017



## CONTENTS

- 01 会社紹介
  - 01 会社概要
  - 02 主な事業内容
- 03 トップメッセージ
- 04 理念・方針
- 05 環境への取り組み
  - 05 環境経営
  - 06 環境会計
  - 07 事業のマテリアルバランス
  - 08 資源循環の促進
  - 08 環境負荷の低減
  - 09 環境配慮型の製品・サービス
- 11 社会への取り組み
  - 11 お客さまとともに
  - 12 社会とのコミュニケーション
  - 13 社会からの評価
- 14 生産工場の環境データ
- 15 お問い合わせ一覧

## 当社グループの主な事業内容

切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売、工業所有権等の取得、貸与、譲渡およびこれらの技術指導。



## 編集方針

オーエスジーは、2001年度から環境に関する詳細情報をステークホルダーの皆さまに提供することを目的に環境報告書を発行してきました。2014年版から環境負荷低減の新たな取り組みとして冊子の発行は行わずホームページへの掲載のみとしました。

## ISO14001 認証取得

認証機関：一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)  
登録番号：JQA-EM1088  
初回登録日：2000年11月10日

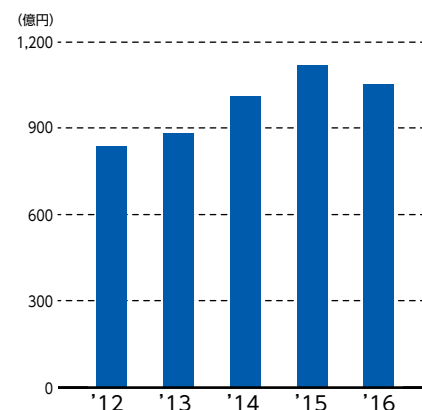
## 対象期間

2016年度(2015年12月1日から2016年11月30日まで)の活動を中心として報告しています。

## 会社概要 (2016年11月末現在)

社 名：オーエスジー株式会社  
本 社：〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3-22  
TEL 0533-82-1111  
設 立：1938年3月26日  
代 表：代表取締役社長兼CEO 石川則男  
資 本 金：104億4百万円  
事 業 所：9事業所  
営 業 拠 点：28箇所  
従 業 員 数：1,677名(グループ全体 5,866名)  
連 結 子 会 社：(国内)14社 (海外)43社

### 連結売上高推移





オーエスジーは、世界トップシェアを誇るタップを柱に、エンドミル、ドリル、転造工具、ゲージなどを製造・販売する総合工具メーカーです。1938年の創業以来、その優れた設計・開発力と提案力により、常にお客さまのニーズと課題に徹底的に取り組み、付加価値の高い製品群を生み出し続けてきました。

その企業姿勢はオーエスジーの企業DNAとして受け継がれ、地球規模の事業展開と世界の工具市場をリードする製品開発の原動力となっています。

#### OSGグループのグローバルネットワーク





「環境を大切にす文化」を醸成し、社員が自発的に行動する「環境に優しい会社」として新たなステージで環境負荷低減に寄与した製品を皆さまにお届けするために自らも事業活動の環境負荷を低減しステークホルダーの皆さまとの対話の中で相互理解を図り、社会の持続的発展に貢献していきます。



オーエスジー株式会社  
代表取締役社長兼CEO

## 石川 則男

オーエスジーは、お客さま一人ひとりの夢をカタチにしたい。その思いを原動力に挑戦を続け、世界のものづくり産業を地球規模で支えていきます。「shaping your dreams」をタグラインに、新時代に更に飛躍をするため、世界33カ国にグローバルネットワークを展開し、お客さまに最適な工具と加工方法をご提案させていただきます。

当社に連続と受け継がれるモノづくり・人づくりを通じて、地球会社、健康会社、環境にやさしい会社を追求し、環境法令順守や社会的良識に公正で透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、企業の継続的な発展と企業価値の増大を考え、世界の産業に寄与するツールの開発、設計から廃棄までの各領域において、省エネルギー・省資源の推進、廃棄物の削減を通して環境の保全・向上と環境に配慮した製品の提供に努めてまいります。

特に省エネでは、エネルギー源の重油を電気へ一元化し、電気使用量の削減を更に進めてエネルギーミニマムを考慮した効率的な生産改善を積極的に展開します。

また、お客さまの環境負荷低減のお役に立てる、高精度かつ高効率・長寿命加工を追求した環境にやさしい製品開発を推し進め、エコにとことん取り組み、量産品と特注品ともに機動的に対応できる隙のない営業や受注体制の構築を目指します。

当社におけるモノづくりは、省エネルギーや省資源はもちろんのこと、生産活動で排出される廃棄物のリサイクルにも積極的に取り組み、再資源化率99%以上を堅持しつつ、成長の牽引役となる超硬工具原材料を製造するグループ会社の環境活動とも連携して進めてまいりますので、今後も皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

### shaping your dreams

オーエスジーは、創立100周年に向けて新たなブランドタグライン

「shaping your dreams」を制定いたしました。

高品質で高性能な製品を作り出す確かな「技術力」

真摯な姿勢で粘り強くやり遂げる「対応力」

期待の先を行く「提案力」と「創造力」

私たちは、地球規模で事業展開する総合工具メーカーとしてお客さまとのコミュニケーションを土台に、4つの力を掛け合わせ、お客さまの夢をカタチにすることで、ものづくり産業の発展と豊かな未来の実現に挑み続けます。

<http://www.osg.co.jp/brand/>



shaping your dreams



### 経営基本方針

- 企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- 社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- 株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- 社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

### 環境基本理念

- 経営基本方針との調和を図りながら地球環境を保全し、行動する。
- 三つの宣言(1996年10月)「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」の情報を広く公開する。
- 社会に貢献する商品・サービスの提供を図ると共に環境へ配慮して活動する。
- スローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

### 環境方針

「環境に優しい会社」「環境を大切にする文化」をスローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

### 第6次環境中期計画スローガン(2015年度～2017年度)

- 省エネ活動はNEXTステージへ! **【重点項目】エネルギー消費量の改善**

### 2016年度環境実績及び2017年度目標

| No | 環境目的     |   | 2016年                    |                          | 2017年<br>目標              |
|----|----------|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|    | 項目       | 内容  | 目標値                      | 実績値                      |                          |
| 1  | 省エネルギー   | 総エネルギー使用量削減<br>(エネルギー源:電気・重油・LPガス)<br>総使用量 BM:85,018 GJ/月 | 1.0%削減<br>850GJ/月<br>削減  | 1.0%削減<br>854GJ/月<br>削減  | 1.0%削減<br>850GJ/月<br>削減  |
|    |          | 生産高原単位<br>BM:20 GJ/百万円                                    | 1.0%削減<br>0.20GJ/月<br>削減 | 2.5%削減<br>0.51GJ/月<br>削減 | 1.0%削減<br>0.20GJ/月<br>削減 |
| 2  | エコプロダクツ  | 環境に優しい製品開発  | 16件                      | 16件                      | 39件                      |
| 3  | エコファクトリー | 環境に優しい製品造り  | 19件                      | 22件                      | 24件                      |



# 環境への取り組み

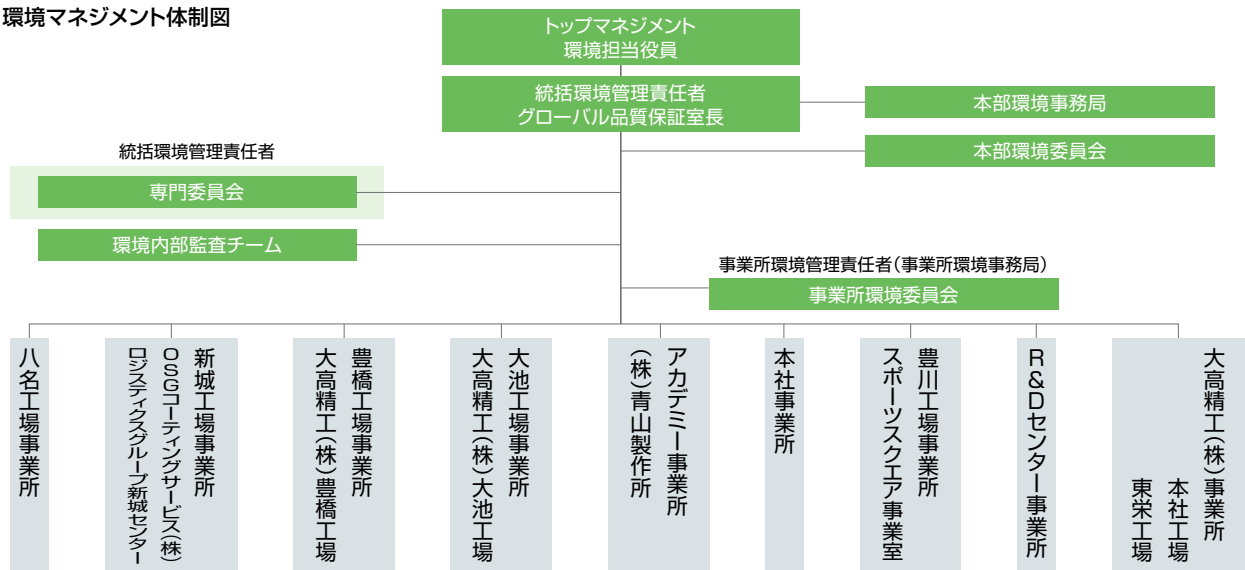
次の世代にまで影響がおよぶ環境問題は、オーエスジーが取り組むべき重要な課題です。資源の効率的な利用や環境に配慮した製品作り、お客さまへの環境に優しい製品・サービスの提供等に積極的に取り組み、環境負荷低減と資源循環型社会の構築を目指しています。



## 環境経営

オーエスジーでは、本部環境委員会を設置し、社内横断的に環境戦略を立案し、積極的に環境問題の解決に取り組んでいます。環境負荷の大きい現場に近い部署が環境マネジメントの主体となる体制として、環境マネジメント活動はトップマネジメントに環境担当役員、統括環境管理責任者にはグローバル品質保証室長として体制を作り活動しています。

環境マネジメント体制図



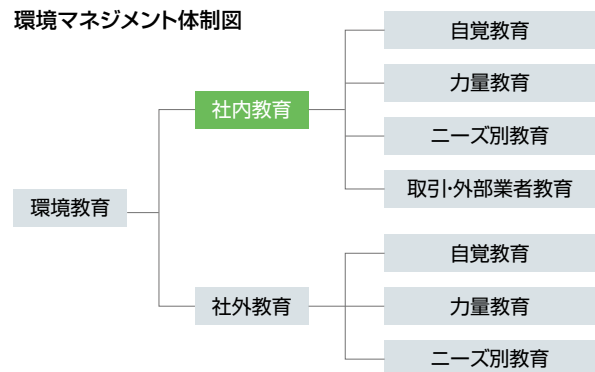
## 環境教育

新任管理監督者はISO14001のマネジメントシステムを理解し、環境内部監査員として活躍してもらうために、力量教育を実施して社内認定しています。

また各事業所の環境担当者には幅広く環境法の基礎的な知識を習得してもらうため、環境法規制教育で知識と実践的な力量の向上に取り組んでいます。

緊急時に対する対応訓練についても各事業所の担当者への周知徹底を行っています。

環境マネジメント体制図



## 関連会社の環境マネジメントシステムの構築状況

### ISO14001取得状況

|       |     |                     |               |
|-------|-----|---------------------|---------------|
| 2000年 | 11月 | オーエスジー(株)9事業所       | ISO14001 認証取得 |
| 2004年 | 10月 | (株)ノダ精工             | ISO14001 認証取得 |
| 2005年 | 12月 | 三和精機(株)滋賀製作所        | ISO14001 認証取得 |
| 2007年 | 10月 | 日本ハードメタル(株)九州工場     | ISO14001 認証取得 |
| 2007年 | 10月 | (株)青山製作所            | ISO14001 認証取得 |
| 2008年 | 10月 | 大高精工(株)             | ISO14001 認証取得 |
| 2008年 | 10月 | 大宝産業(株)             | ISO14001 認証取得 |
| 2014年 | 6月  | 日本ハードメタル(株) 本社・本社工場 | ISO14001 認証取得 |



## 環境会計

環境会計システムは、環境省の「環境会計ガイドライン」を参考にしています。

環境会計を通じて、環境保全活動に取り組む当社の姿勢と考え方を理解いただき、更なる社会との良好な関係向上を目指します。

過去3年間のコストと効果の推移

(単位:千円)

|          | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 1 積極的成本  | 61,318 | 94,771 | 76,394 |
| 2 維持コスト  | 56,684 | 56,527 | 58,163 |
| 3 環境損失補償 | 0      | 0      | 0      |
| 4 環境保全効果 | 14,976 | 19,653 | 34,221 |

2016年度のコストと効果の詳細

(単位:千円)

| 分類                     | 項目               | 具体的な取り組み内容                            | 設備等の投資金額   |
|------------------------|------------------|---------------------------------------|------------|
| 1 環境目的達成に向けた「積極的成本」    | ①公害防止コスト         | —                                     | 0          |
|                        | ②地球環境保全コスト       | 照明LED化、空調機の更新等                        | 21,394     |
|                        | ③資源環境コスト         | 刃先バリ取り改善費用                            | 55,000     |
|                        |                  |                                       | 小計 76,394  |
| 2 環境マネジメントシステムの「維持コスト」 | ①環境保全活動に伴う人件費    | 環境事務局経費、マネジメント運用経費                    | 15,000     |
|                        | ②環境教育・同資料作成コスト   | セミナー参加、環境報告書                          | 586        |
|                        | ③環境監査関連費用        | 外部審査費用、登録維持費用                         | 1,471      |
|                        | ④環境関連法規制対応コスト    | 特定化学物質測定等                             | 0          |
|                        | ⑤廃棄物処理およびリサイクル費用 | 廃棄物処理費用                               | 36,362     |
|                        | ⑥循環測定費用          | 各種環境測定、分析費用                           | 4,414      |
|                        | ⑦社会活動における環境保全コスト | 日本機械工具工業会環境委員会活動費用                    | 330        |
|                        |                  | 小計 58,163                             |            |
| 3 環境損失補償費用             | 土壌汚染、自然破壊修復コスト等  | —                                     | 0          |
|                        |                  |                                       | 小計 0       |
|                        |                  |                                       | 合計 134,557 |
| 4 環境保全効果               | 環境改善効果の合計        | 空調機更新による省エネ、照明のLED化による省エネ<br>刃先バリ取り改善 | 34,221     |
|                        |                  |                                       | 合計 34,221  |



事業のマテリアルバランス

オーエスジーは、低炭素社会の実現と資源循環型社会の構築に貢献すべく、事業活動における様々な環境への影響を把握・管理し、エネルギー使用量の削減や製造プロセスで発生した廃棄物を再資源として使用する等の努力を続けています。

INPUT

(天然資源・エネルギー等)

| エネルギー        |                       |
|--------------|-----------------------|
| 購入電力         | 93百万kWh               |
| 重油/発電        | 1,299kL               |
| 重油/空調        | 794kL                 |
| LPG/空調       | 446t                  |
| 用水/上水        | 110,763m <sup>3</sup> |
| 工業用水         | 32,061m <sup>3</sup>  |
| 井水           | 6,074m <sup>3</sup>   |
| 紙(コピー用紙A4換算) | 372万枚                 |

| 資源         |        |
|------------|--------|
| 原材料(金属素材)  | 1,826t |
| 油剤(切削、研削油) | 483kL  |
| その他        | 副資材等   |



OUTPUT

(廃棄物、水域・大気等への放出)

| 製品                     |           | 水域への排出  |                        | 廃棄物    |           |
|------------------------|-----------|---|------------------------|--------|-----------|
| 生産高                    | 51,229百万円 | 排水  | 148,898 m <sup>3</sup> | 売却量    | 1,125.5 t |
| 包装用品                   | 174百万円    | *排水は主に生活排水です。<br>*排水量=用水の使用量としました。実際の排水は、水溶性クーラントへの使用や空調使用の蒸発等により使用量の50~60%と推測されます。 |                        | リサイクル量 | 1,053.4 t |
| <b>有害物質 (PRTR対象物質)</b> |           | <b>大気への排出</b>   |                        | 最終埋立量  | 2.2 t     |
| クロム                    | 81.5 t    | エネルギー起源のCO <sub>2</sub>   |                        | 合計     | 2,181.1 t |
| コバルト                   | 53.5 t    | 生産  | 53,321 t               |        |           |
| マンガン                   | 5.6 t     |   |                        |        |           |
| モリブデン                  | 68.1 t    |   |                        |        |           |
| バナジウム                  | 31.2 t    |   |                        |        |           |





## 資源循環の促進

廃棄物について、ゼロエミッション活動を推進してきました。再利用、再生利用による資源が循環する仕組みづくり、排出されるごみを適正に処理する体制を確立させ2005年から再資源化率99%以上を実現しています。

再資源化率  
**99%**

### 再資源化

|                |           |
|----------------|-----------|
| 金属屑(売却)        | 892.7 t   |
| 紙ダンボール(売却)     | 46.0 t    |
| 廃油(売却、リサイクル)   | 439.5 t   |
| 油泥(売却、リサイクル)   | 112.6 t   |
| 廃珪藻土(売却、リサイクル) | 467.4 t   |
| 廃砥石(リサイクル)     | 42.5      |
| 廃プラ(リサイクル)     | 46.8 t    |
| 木屑(リサイクル)      | 64.6 t    |
| その他(リサイクル)     | 48.1 t    |
| 総再資源化重量        | 2,178.9 t |



## 環境負荷の低減

エネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物削減を推進してきました。環境負荷の継続的改善を進めるため「エネルギー使用の効率化」と「省エネ設備への代替化」を重点項目として全事業所を挙げて活動してきました。

### エネルギー使用量

2016年度の取り組みとして全社LED照明の切り替えを進めてきましたが、夏季の温度管理に伴う対応等でエネルギー使用量が増加しました。合わせて生産高が4%ダウンしたことにより生産高原単位は、2015年度比14%増加となりました。

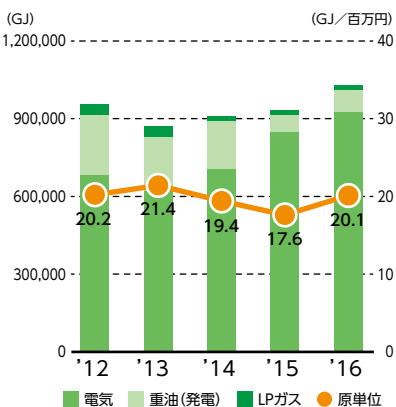
### CO<sub>2</sub>排出量

CO<sub>2</sub>排出量の生産高原単位は、2015年に比べ生産高原単位は、27%減少しました。要因は、生産高が4%減少し、CO<sub>2</sub>排出量が23%増加したことが影響しています。夏季が例年に比べ暑く、外気温上昇による冷房関連に係るもののCO<sub>2</sub>排出量が増加したことが影響しています。

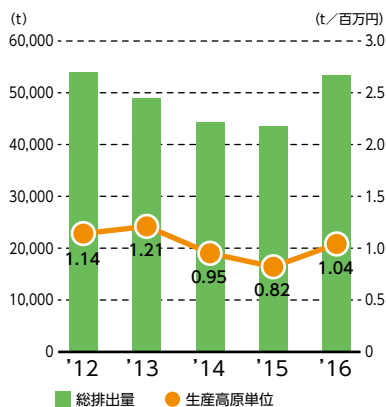
### 廃棄物の排出量と有価物比率

廃棄物の有価物化への取り組みを継続的に進めました。珪藻土、油泥等が増え廃棄物排出量が9%増加しましたが、有価売却できるものを増やす活動にて有価物比率を昨年度と比べ3%増加しました。

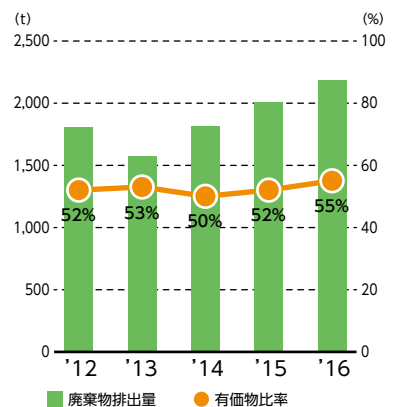
### エネルギー使用量



### CO<sub>2</sub>排出量



### 廃棄物排出量と有価物比率





## 環境配慮型の製品・サービス

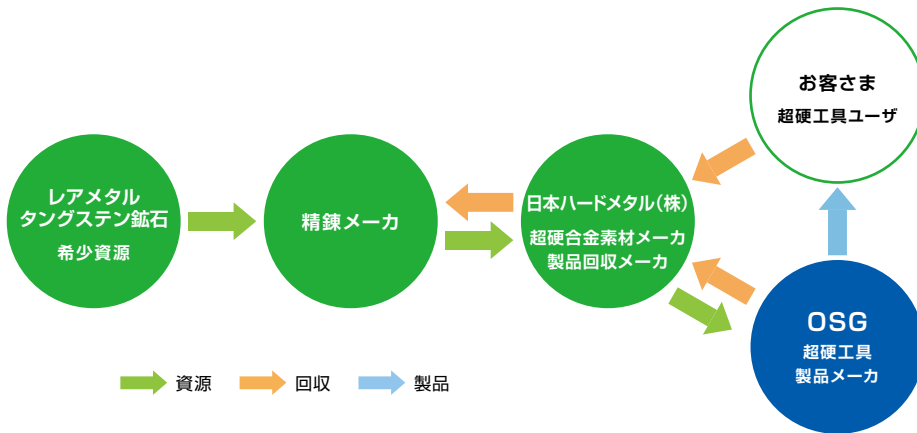
オーエスジーでは、環境に優しい製品作りやお客さまへの環境に優しい製品の提供に努めています。再研磨事業の充実や、高速切削、長寿命等高能率、省資源化した製品の開発を通じて環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

### ■超硬リサイクルの推進

超硬工具には、タングステン・コバルト等の希少資源が原料に含まれています。

オーエスジーは、グループ全体で超硬製品のリサイクルに取り組んでいます。

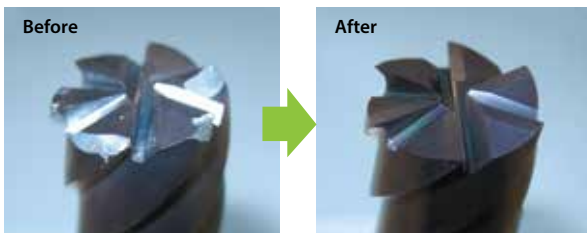
使用済み工具をお客さまから回収し、希少金属をリサイクルすることで素材として再生して資源の有効活用することで、お客さまのCSR活動やゼロエミッション推進に役立てるよう取り組んでいます。



### ■再研削サービス

タップ・エンドミル・ドリル等切削工具は使用を繰り返すと摩耗して切れなくなりますが、再研削により新品同様にその切れ味がよみがえります。

オーエスジーでは再研削をグループ会社で行っており、お客さまのご要望にお応えしています。



### オーエスジーグループ再研削工場

- (株)青山製作所  
〒441-1231 愛知県豊川市一宮町宮前149  
Tel.0533-93-2524 Fax.0533-93-2725
- (株)エステイ製作所  
〒300-2748 茨城県常総市馬場442-2  
Tel.0297-43-7181 Fax.0297-43-7180
- ORS(株)  
〒470-2102 愛知県知多郡東浦町緒川大草1-156  
Tel.0562-83-9841 Fax.0562-83-9053
- ORS(株)群馬工場  
〒379-2235 群馬県伊勢崎市三室町5720番7  
Tel.0270-75-1333 Fax.0270-75-1334
- 大高精工(株)本社工場  
〒441-1317 愛知県新城市有海字高田1番地10  
Tel.0536-25-0833 Fax.0536-25-0835
- (株)日新ダイヤモンド製作所(ダイヤモンド工具のみ再研)  
〒520-1621 滋賀県高島市今津町大字今津1561番地の7  
Tel.0740-22-2415 Fax.0740-22-4178

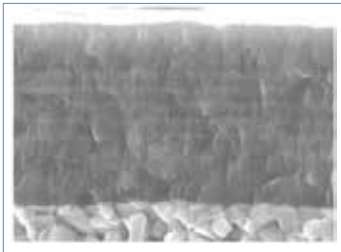


## 新たなミーリングスタンダード 超硬防振型エンドミル AE-VMS

### AE-VMSの特徴

#### • DUARISE™コーティング

潤滑性、耐摩耗性、高温耐酸化性に優れた複合多層コーティングです。  
クーラントは選びません。乾式加工、湿式加工どちらにも使用可能です。  
コーティング表面が滑らかで良好な加工面が得られます。

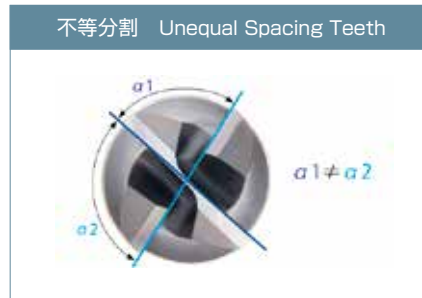


#### • 低抵抗

切れ味の良い刃形を採用することで切削抵抗が低減され、安定した加工が可能です。

#### • びびり抑制

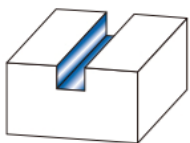
不等リード、不等分割の効果によりびびり振動を抑制し、高能率な加工が可能です。  
加工時間が短縮されることにより電力消費量の削減に貢献します。



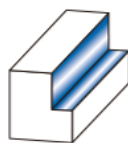
#### • 多機能性

AE-VMSは一本で様々な加工形態に対応することが可能です。

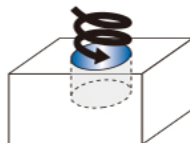
### 加工形態 Application



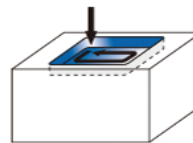
溝切削  
Slotting



側面切削  
Side Milling



ヘリカル加工  
Helical Milling



コンタリング加工  
Contour Milling



ランピング加工  
Ramping





企業は社会の一員であり、社会との双方向かつ良好な関係を維持しながら社会全体の持続可能性を追求していかなければなりません。オーエスジーでは、これを十分認識し、お客さまや従業員など様々なステークホルダーとの円滑なコミュニケーションに努めていきます。



## お客さまとともに

高精度かつ高能率加工が可能な製品をご提供することで、お客さまの環境負荷低減のお手伝いをさせて頂いております。工具を通してお客さまの夢をカタチにするため、『shaping your dreams』をキーワードに、お客さまから信頼される製品とサービスを提供することで、更なる顧客満足の向上を図っていきます。

### ■品質マネジメントシステム

当社は、これまでもオーエスジーグループで働くひとり一人がお客さまに満足していただける魅力ある品質・環境に配慮した製品・サービスをお届けしてきました。これからも、品質マネジメントシステムの本質である顧客重視と継続的改善を再認識し、お客さまに満足していただける工具を供給できるよう改善を続けていきます。

オーエスジーは、世界に通用する品質(QCDE)を提供し、お客さまに信頼される品質保証体制を構築するためにOSG品質認定制度に合格させ、グローバルな展開ができるように品質監査を実施しています。

### ■各種展示会出展

当社は、総合工具メーカーとして積極的に各種展示会に参加するとともに、セミナー開催などを行い、見て・感じて・体験していただくなど、工具を通じてお客さまとのコミュニケーションを深めています。

オーエスジーが出展する国内外の最新の展示会(技術展・見本市)の情報を掲載しています。

#### 主な出展展示会

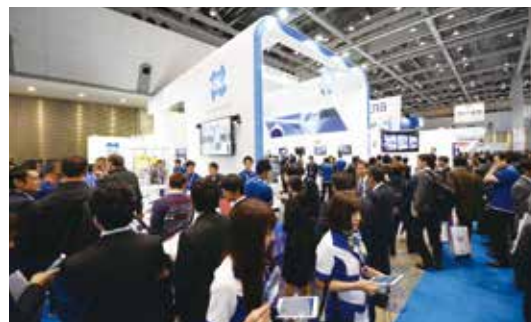
|               |       |     |
|---------------|-------|-----|
| INTERMOLD2016 | 2016年 | 4月  |
| IMTS2016      | 2016年 | 9月  |
| JIMTOF2016    | 2016年 | 11月 |



INTERMOLD2016 大勢の来場者で賑わうOSGブース



IMTS2016 製品別業界別の工具展示



JIMTOF2016 過去最高の来場者数の中で新製品・技術を紹介



## 社会とのコミュニケーション

地域社会との共生を目指すとともに、更なる社会の持続的な発展に貢献することにより社会的責任を果たしていきます。

### ■三河東地域 歳末助け合い運動

2015年12月19日(土)、歳末助け合い運動が豊川の食品量販店で行われました。

寒風が吹く中で、募金協力への呼びかけをし、小さなお子さんからお年寄りまでの多くの方々にご協力をいただきました。

寄せられ募金は、社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付されました。



小さなお子さんからお年寄りまでの多くの協力

### ■ボランティアに参加

2016年6月5日(日)朝から青空が広がる中「しんしろクリーンフェスタ2016」が開催されました。

社員とその家族の皆さんが参加し、八名工場付近富岡地区の清掃活動を行い、環境への理解が深まりました。



しんしろクリーンフェスタ参加者の皆さん

### ■愛知県モノづくり人材育成事業

毎年、自治体が主催する「モノづくり人材育成事業」へ講師の派遣も10年目を迎えました。

2016年度豊川工業高校3年生10名を対象に7月11日(月)～25日(月)まで2週間にわたり「技能検定 旋盤加工職種3級」の実技指導を行いました。選抜された8名の講師が担当し、受講生10名全員が合格することができました。



加工アドバイスで急成長



■大澤科学技術振興財団

過去26年間に延べ570人を助成

2016年10月24日(月)大澤科学技術振興財団の贈呈式が、OSGゲストハウスにて開催されました。

創設26年の今年は、29人の研究者に対し、総額5千万円の助成を行いました。

助成金総額6億2千2百万円、助成件数570件にのぼっています。

『科学技術の研究に日夜専念している研究者を経済的に援助したい』という創業者の大澤秀雄さんの夢を、一步一步確実に実現しています。



受賞された研究者の方々



社会からの評価

2016年度の事業活動により、第三者からいただいた評価を紹介します。

■文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞を2016年度は、3件受賞しました。この賞は、“優れた創意工夫”により、技術の改善向上に貢献した勤労者を文部科学大臣が表彰し、現場の第一線で努力している人に光をあてるための賞です。

2010年から7年連続受賞し、受賞件数14件16名となりました。



左から受賞された小久保さん、今泉さん、後藤さん

■日本機械工具工業会で工業会賞を受賞

2016年12月12日(月)東京浜松町東京會館で日本機械工具工業会(JTA)の表彰式が行われ、「技術功績賞」として“ヘッド交換式エンドミル専用コレットの開発”と、「環境活動賞」として“コンプレッサー台数制御による省エネ”が受賞となりました。



技術功績賞



環境活動賞の楯



# 生産工場の環境データ

## INPUT

### 資源エネルギー投入量(年間)

|        | 2015年度               | 2016年度               |
|--------|----------------------|----------------------|
| 購入電力   | 3,233万kwh            | 3,040万kwh            |
|        | 100%                 | 94%                  |
| 重油/発電  | 868kL                | 1,299kL*2            |
|        | 100%                 | 150%                 |
| 重油/空調  | 715kL                | 723kL                |
|        | 100%                 | 101%                 |
| LPG/空調 | 68t                  | 74t                  |
|        | 100%                 | 109%                 |
| 用水(上水) | 43,416m <sup>3</sup> | 39,590m <sup>3</sup> |
|        | 100%                 | 91%                  |

\*2 自家発電を増加

## OUTPUT

### CO<sub>2</sub>排出量・産業廃棄物排出量\*1

|                            | 2015年度    | 2016年度    |
|----------------------------|-----------|-----------|
| CO <sub>2</sub> 排出量        | 20,567t   | 20,478t   |
|                            | 100%      | 100%      |
| CO <sub>2</sub> 排出量<br>原単位 | 1.04t/百万円 | 1.11t/百万円 |
|                            | 100%      | 107%      |
| 廃棄物<br>排出量                 | 593t      | 668t      |
|                            | 100%      | 113%      |

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

### 八名工場



### 新城工場



### 豊橋工場



### 大池工場



|              | 2015年度               | 2016年度                  |
|--------------|----------------------|-------------------------|
| 購入電力         | 2,303万kwh            | 2,310万kwh               |
|              | 100%                 | 100%                    |
| LPG/空調       | 339t                 | 368t                    |
|              | 100%                 | 109%                    |
| 用水<br>(上水)   | 66,122m <sup>3</sup> | 49,367m <sup>3</sup> *3 |
|              | 100%                 | 75%                     |
| 用水<br>(工場用水) | 15,558m <sup>3</sup> | 32,061m <sup>3</sup> *3 |
|              | 100%                 | 206%                    |

\*3 用水で上水から工業用水に変更

|                            | 2015年度    | 2016年度    |
|----------------------------|-----------|-----------|
| CO <sub>2</sub> 排出量        | 12,475t   | 12,343t   |
|                            | 100%      | 99%       |
| CO <sub>2</sub> 排出量<br>原単位 | 1.10t/百万円 | 0.91t/百万円 |
|                            | 100%      | 83%       |
| 廃棄物<br>排出量                 | 170t      | 181t      |
|                            | 100%      | 106%      |

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

|        | 2015年度              | 2016年度              |
|--------|---------------------|---------------------|
| 購入電力   | 1,005万kwh           | 1,034万kwh           |
|        | 100%                | 103%                |
| 重油/空調  | 0kL                 | 0kL                 |
|        | -                   | -                   |
| 用水(上水) | 7,195m <sup>3</sup> | 7,054m <sup>3</sup> |
|        | 100%                | 98%                 |

|                            | 2015年度    | 2016年度    |
|----------------------------|-----------|-----------|
| CO <sub>2</sub> 排出量        | 4,993t    | 5,023t    |
|                            | 100%      | 101%      |
| CO <sub>2</sub> 排出量<br>原単位 | 1.05t/百万円 | 1.05t/百万円 |
|                            | 100%      | 100%      |
| 廃棄物<br>排出量                 | 173t      | 146t      |
|                            | 100%      | 84%       |

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

|            | 2015年度              | 2016年度                 |
|------------|---------------------|------------------------|
| 購入電力       | 1,577万kwh           | 1,733万kwh              |
|            | 100%                | 110%                   |
| LPG/空調     | 1.9t                | 4.2t*4                 |
|            | 100%                | 221%                   |
| 用水<br>(上水) | 5,870m <sup>3</sup> | 5,775m <sup>3</sup> *5 |
|            | 100%                | 98%                    |
| 用水<br>(井水) | 1,133m <sup>3</sup> | 2,216m <sup>3</sup> *5 |
|            | 100%                | 196%                   |

\*4 LPG使用増加理由：夏季冷房

\*5 用水で上水から井水に変更

|                            | 2015年度    | 2016年度    |
|----------------------------|-----------|-----------|
| CO <sub>2</sub> 排出量        | 7,902t    | 8,441t    |
|                            | 100%      | 107%      |
| CO <sub>2</sub> 排出量<br>原単位 | 0.50t/百万円 | 0.51t/百万円 |
|                            | 100%      | 102%      |
| 廃棄物<br>排出量                 | 107t      | 129t      |
|                            | 100%      | 121%      |

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く



オーエスジー株式会社

**【お問い合わせ一覧】**

オーエスジー株式会社ホームページ

<http://www.osg.co.jp/>

企業情報(IR情報)

[http://www.osg.co.jp/about\\_us/ir/](http://www.osg.co.jp/about_us/ir/)

**オーエスジー株式会社  
環境報告書 2017**

2017年5月 初版発行

編集：グローバル品質保証室 品質保証グループ ISO推進チーム

次回発行予定：2018年5月

**【お問い合わせ】**

本報告書に関するご意見やご質問は、下記までご連絡ください。

オーエスジー株式会社R&Dセンター  
グローバル品質保証室  
品質保証グループ ISO推進チーム

〒442-8544 愛知県豊川市本野ヶ原1-15  
TEL : 0533-84-8929  
FAX : 0533-84-8952  
E-mail: infoeco@osg.co.jp